

日英プライマリ・ケア交換留学プログラム
平成 28 年度英国短期訪問プロジェクト参加者公募

日本プライマリ・ケア連合学会（Japan Primary Care Association; JPCA）と英国家庭医学会（Royal College of General Practitioners; RCGP）との正式な交流の一環として、JPCA 国際キャリア支援委員会と RCGP ジュニア国際委員会（Junior International Committee; JIC）が窓口となり、「日英プライマリ・ケア交換留学プログラム」を実施しています。この事業により、英国家庭医が 2013 年 5 月以降毎年 5 名ずつ来日し、JPCA 学術大会へ参加し日本の後期研修プログラムを訪問しました。日本からは 2013 年に 3 名、2014 年以降毎年 5 名が選抜されて訪英し、RCGP 年次学術大会に参加するとともに、英国の GP 専門研修プログラムを訪問しました。とくに英国の専門研修医（AiT）と専門医（MRCGP）取得後 5 年までの家庭医（First5）との交流を通して英国の家庭医療・総合診療について理解する機会を提供します。今年も下記のとおり参加者を公募するので積極的な応募を期待します。

平成 28 年 4 月 18 日
日本プライマリ・ケア連合学会
国際キャリア支援委員会
委員長 葛西龍樹

- * 参考：日本プライマリ・ケア連合学会誌. 37(2):141-143,2014
https://www.jstage.jst.go.jp/article/generalist/37/2/37_141/pdf
日本プライマリ・ケア連合学会誌 38(4): 401-403, 2015
https://www.jstage.jst.go.jp/article/generalist/38/4/38_401/pdf

募 集 要 項

<募集人数> 5 名

<応募資格> 次の条件すべてを満たす者

- (1) JPCA 正会員である。
- (2) JPCA 認定家庭医療後期研修プログラムで現在研修中、または JPCA（または旧日本家庭医療学会）認定家庭医療後期研修プログラムの後期研修を修了後 5 年未満である。
- (3) 渡航期間に有効なパスポートを所持している。
- (4) 英国訪問に支障ない英語の能力がある。

<応募書類> 次の書類を PDF ファイルにし、学会本部事務局（office@primary-care.or.jp）へメール添付にて送付すること。その際メールの件名を「英国短期訪問応募（）」とし、カ

ツコ内に応募者の氏名を記入すること。

- (1) 応募申請書 1部 ご希望者の方は以下のリンクより入手すること。

<https://www.dropbox.com/sh/m68glyrj1y kzfp2/AAA1wDc6t2Xwa2qgTu7Ltl2ga?dl=0>

- (2) 所属長 (JPCA 認定家庭医療後期研修プログラム責任者が望ましい) からの推薦書 1部

注:すべて所定のものを入力後プリントして、申請書には応募者の顔写真を貼付し応募者が署名・押印し、推薦書には 推薦者が署名・押印すること。

<応募締切> 2016年5月20日(金)正午(日本時間)

<参加派遣者の特典>

- (1) JPCA から1名あたり10万円の渡航助成金が支給される。
(2) RCGP から学術大会参加費が支給される(予定)。

<参加派遣者の義務>

- (1) 2016年10月6~8日開催のRCGP年次学術大会(開催地:Harrogate)に参加する。
(2) 上記大会または前日開催のRCGP Pre-conference for AiTs and Fist5に参加し、日本のプライマリ・ケアについてポスター発表する。
(3) その前後に専門研修プログラムを訪問する(参加派遣者個別に日程調整される)。
(4) 帰国後速やかに報告書を参加者5人の共著で作成し、JPCA 学会誌へ投稿する。
(5) 上記報告書の内容をもとにしたポスター口演演題をJPCA 第8回学術大会へ応募する(参加者1人1演題、当委員会企画シンポジウムとなる可能性もある)。

<参加派遣者の選考>

- (1) 応募書類による1次選考後、5月末日までに選考結果が受験者へ通知され、合格者のみが次項で述べる面接試験を受験する。
(2) JPCA 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会集会(開催地:東京 浅草)期間中(2016年6月11日または12日)に当委員会委員との面接試験を行う。日時については前項の通知時に周知される。なお、今回の学術集会には、本事業による英国からの交換留学生が参加予定であり、これまでの交流や成果発表の機会である。事前に交流する貴重な機会であるので、一次選考合格者は学術集会への参加が望ましい。やむを得ぬ事情で指定の日時に面接試験を受験参加できない場合は、事情により別途対応することがある。
(2) 応募書類と面接試験結果に基づき国際キャリア支援委員会で厳正に協議して参加派遣候補者を決定し、正副理事長会議へその候補者を推薦する。
(3) その推薦を受けて正副理事長会議が最終決定する。

<参加派遣者の発表> 2016年6月24日(金)正午、本学会ホームページ上で発表される。